

公益財団法人東京都農林水産振興財団 入札情報
【公表】

整理番号	9
契約番号	6農振財契第226号
件名	栽培漁業センター管理棟空調室外機交換工事
入札方法	電子入札システム「ビジネスチャンス・ナビ」上で実施
工事場所	東京都大島町元町字和泉99-5 公益財団法人東京都農林水産振興財団 栽培漁業センター
概要	詳細は別紙仕様書のとおり
工期	契約確定の日の翌日から令和7年3月31日まで
契約方式	希望制指名競争入札
希望申出要件	①又は②のいずれかの要件を満たす者で、本件仕様に対応可能な者 ①東京都における令和5・6年度東京都建設工事等競争入札参加有資格者で、いずれかの営業種目に格付けされている者であること(営業種目は問わない)。 ②当財団又は官公庁等において同様の業務について契約実績を有する者であること。
格付	問わない
仕様説明会	実施しない
開札予定日時	令和6年6月18日(火) 午前10時00分(入札期間は指名通知時に連絡)
予定価格	¥2,908,400-(消費税及び地方消費税の額を含む。)
希望申出期間	令和6年5月29日(水)午前10時から令和6年6月5日(水)午後4時まで
希望申出方法	電子入札システム「ビジネスチャンス・ナビ」を通じて受け付けます。
希望申出時の提出書類	以下の(1)から(3)までの書類を「ビジネスチャンス・ナビ」上に添付してください。 (1) 希望票〔様式あり〕(必要事項を記入) (2) 会社概要・実績一覧表〔様式あり〕(必要事項を記入) (3) ○希望申出要件①に該当する場合 東京都の「令和5・6年度東京都建設工事等競争入札参加資格審査受付票」の写し 及び「令和5・6年度競争入札参加資格審査結果通知書(工事等)」の写し ○希望申出要件②に該当する場合 契約実績を証明するものの写し(契約書・請書の写しなど)、及び建築工事業又は建具工事業に係る建設業の許可証の写し(又は許可証明書) (4) 主任技術者として配置を予定する技術者に係る雇用関係証明書、資格証の写し及び健康保険被保険者証の写し
備考	(1) 指名停止等業者については、東京都に準じて取り扱うものとします。 (2) 指名業者の選定については、当財団指名業者選定基準によるものとします。 (3) 下請契約を締結する時は、法定福利費を別枠表記した見積書を徴収し、それを踏まえた書面により、適正な額の請負代金での下請契約に努めてください。また、技術者、技能労働者等の育成及び確保並びにこれらの者に係る賃金その他の労働条件、安全衛生その他の労働環境の改善に努めてください。 (4) <u>希望票の提出があっても、必ずしも指名されとは限りません。</u> (5) 指名通知は、指名した方のみに対して開札予定日の5日前までに行う予定です。 (6) 申込書類に不備がある場合、失格になることがあります。 (7) 関係する会社に該当する場合(親会社と子会社の関係にある場合、親会社を同じくする子会社同士の関係にある場合、役員の兼任等がある場合)には、同一入札に参加することができません。 (8) 入札結果(落札業者名、落札金額等)については後日公表します。予めご了承ください。
入札に関する問い合わせ先	公益財団法人東京都農林水産振興財団 管理課 契約担当 住所 東京都立川市富士見町3-8-1 電話 042-528-0721
仕様内容に関する問い合わせ先	公益財団法人東京都農林水産振興財団 栽培漁業センター 住所 東京都大島町元町字和泉99-5 電話 04992-2-3461

仕 様 書

1. 件 名 栽培漁業センター管理棟空調室外機交換工事
2. 契約期間 契約確定日の翌日から令和 7 年 3 月 31 日まで
3. 履行場所 〒100-0101 東京都大島町元町字和泉 99-5
公益財団法人東京都農林水産振興財団
東京都栽培漁業センター

4. 工事概要

(1) 工事内容

管理棟（別紙 1）に設置してある、空調室外機（東芝 MMY-MAP3353HZG、別紙 2）を撤去し、新たに空調室外機（東芝 MMY-MUP3352RZG、あるいは同等品）を新設する。なお、参考機種（別紙 3～6）については、例示するものであり、指定するものではない。ただし、上記の規格、性能を有する製品を選定すること。

(2) 作業日数

適正な作業実施日を受託者より事前に提示し、財団と協議のうえ、決定する。

(3) 作業人数等

安全環境衛生の維持を適正な配置人数により行うこと。ただし、作業時間は午前 8 時 30 分から午後 5 時までとする。作業にあたっては、現場管理者が必ず現場に常駐すること。

5. 適用範囲

この仕様書は、「東京都建築工事標準仕様書」（令和 6 年 4 月）（以下、「標準仕様書」とする。）に定めのない事項又はこれにより難しい事項を以下に定める。

6. 特記事項

- (1) 施工計画書及び作業工程表を事前に提出し、作業開始予定日を連絡すること。
- (2) 海に油類・排水・ゴミ・資材等の廃棄を絶対に行わないこと。
- (3) 施工作業は、「標準仕様書」に従い実施すること。なお、施工上、現場と「標準仕様書」に示す内容の整合性に疑義が生じた場合は、その都度財団と協議のうえ決定する。また、財団から仕様書等に基づく補修の請求があったときは、これに従うこと。この場合において、受託代金の増額又は履行期限の延長の請求はできないものとする。
- (4) 工事対象以外に損傷を与えないよう注意すること。万が一、工事対象とならない構造物に損傷を与えた場合は、速やかに財団に報告し、その指示に従って現状復帰させること。

7. 廃棄物の処理

廃棄物処理法等関連法令に基づき、適正に処理すること。また、処分を確認できる書類を提出するこ

と。

8. 写真の提出

- (1) 本業務の記録写真撮影は、別紙 7「工事記録写真撮影実施要綱」に基づき行うものとする。
- (2) 本業務にかかる報告書を 2 部作成し、記録写真と併せて業務終了後、速やかに提出すること。

9. 支払方法

作業完了後に提出される完了届けに基づき本財団職員が検査を行い、合格と認定した後、支払い請求書を受理した日から 40 日以内に支払うものとする。

10. 秘密の保持

受託者は、この契約の履行に関して知り得た秘密を漏らしてはならない。また、契約の履行により知り得た内容を第三者に提供してはならない。

11. 環境により良い自動車利用について

本契約の履行に当たって自動車を使用し、又は利用する場合は、次の事項を遵守すること。

- 1) 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（平成12年東京都条例第215号）第37条のディーゼル車規制に適合する自動車であること。
- 2) 自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法（平成4年法律第70号）の対策地域内で登録可能な自動車であること。

なお、当該自動車の自動車検査証（車検証）、粒子状物質減少装置装着証明書等の提示又は写の提出を求められた場合には、速やかに提示し、又は提出すること。

12. 物品等の調達について

本契約における物品等の調達において、東京都グリーン購入推進指針（別紙 8）に則り履行すること。

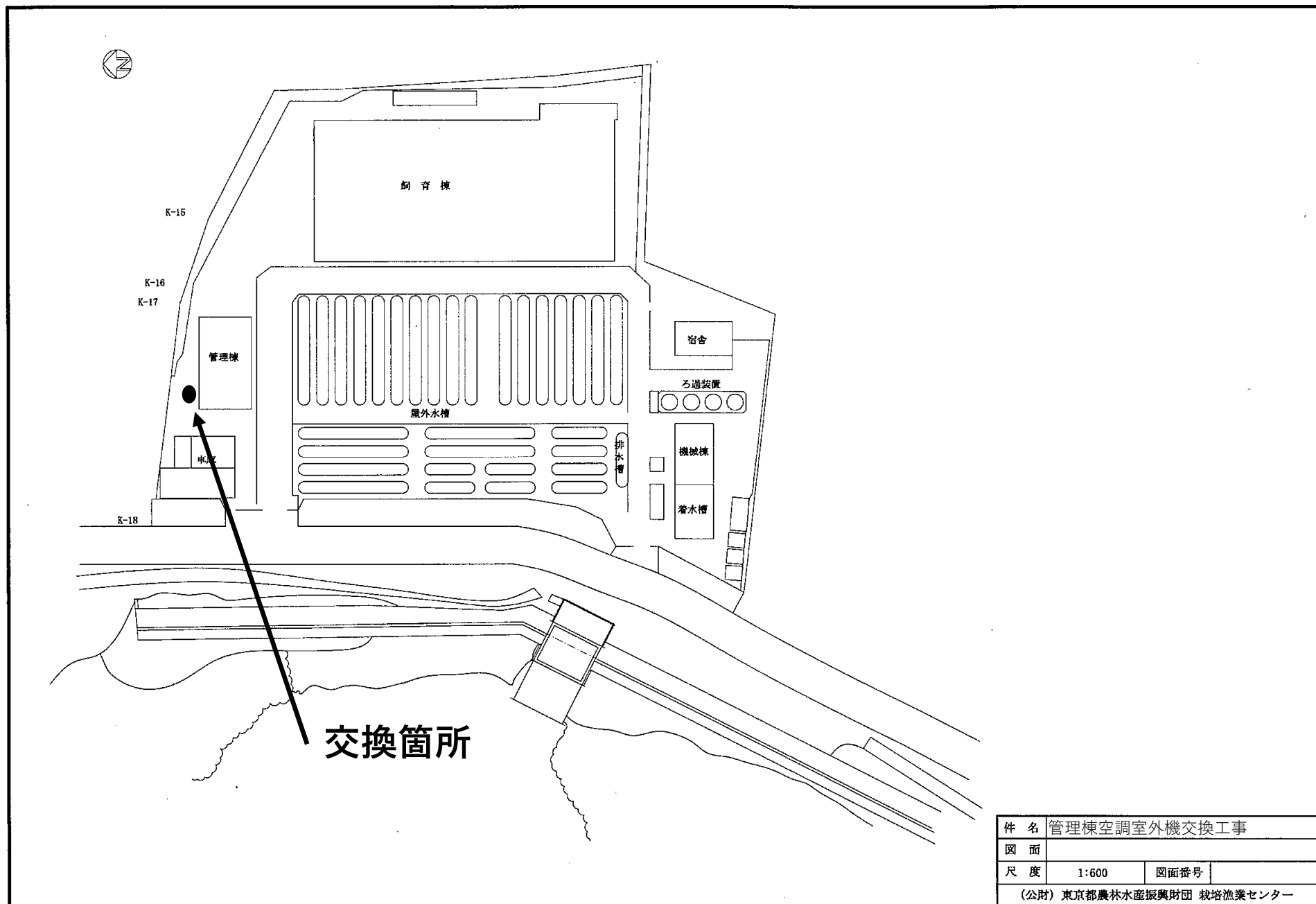
13. 暴力団排除に関する特約条項

暴力団等排除に関する特約条項については、別に定めるところによる。

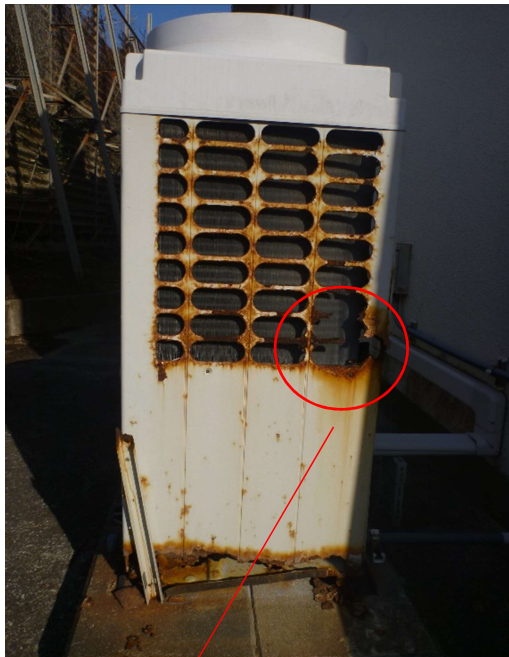
14. その他、本仕様書の解釈について疑義が生じた場合は財団と協議して決定する。

15. 連絡先

東京都大島町元町字和泉 99-5 栽培漁業センター
TEL 04992-2-3461 FAX04992-2-4492



既設室外機



拡大写真



【JRA耐重塩害仕様】

仕 様 表

セット名称

MMY-MUP3352RZG

【グリーン購入法適合】

室 外 機

室外ユニット形名

MMY-MUP3352RZG

【1台設置】

東芝パッケージエアコン<空冷ヒートポンプ>

(50/60Hz)

定格冷房標準能力	(注1)	kW	33.5
定格暖房標準能力	(注1)	kW	37.5
最大暖房低温能力	(注1)	kW	28.0
電源	(注2)		三相200V 50/60 Hz
電 気 特 性 (注1)	定格冷房標準	運転電流	A 35.1 / 35.1
		消費電力	kW 11.64 / 11.64
		力率	% 96 / 96
	定格暖房標準	エネルギー消費効率	2.88 / 2.88
		運転電流	A 30.8 / 30.8
		消費電力	kW 10.24 / 10.24
		力率	% 96 / 96
		エネルギー消費効率	3.66 / 3.66
	冷暖房平均エネルギー消費効率		3.27 / 3.27
	最大暖房低温消費電力		kW 9.84 / 9.84
(注1) 通年エネルギー消費効率 APF2015		(注3)	6.1
区分名	(注4)		ak
外形寸法	高さ×幅×奥行	mm	(1690×990×780)
総質量		kg	231
外装			シルキーシェード (マンセル 1Y8.5/0.5)
熱交換器形式			フィンチューブ
圧縮機	形式		全密閉形
	電動機出力×台数	kW	(9.05×1)
	始動方式		インバーター方式
送風装置	ファン形式		プロペラファン
	電動機出力×台数	kW	(1.00×1)
	風量	m ³ /min	190
冷媒	冷媒名		R410A
	封入量	(注5) kg	6.0
保護装置			インバーター過電流保護(圧縮機・送風機) 高圧スイッチ 作動：3.73MPa 復帰：2.90MPa 高圧スイッチ(冷媒配管) 作動：3.30MPa 復帰：2.70MPa
IPコード			IPX4
圧縮機ケースヒータ	出力×個数	W	26×1
電 源 配 線 (注6)	主電源線	最小電線太さ	より線 mm ² 14
		こう長	m 41
		容量	A 60
	手元開閉器	ヒューズ	A 50
		アース線	mm ² 3.5
		容量・漏洩電流・作動時間	50A・30mA・0.1sec以下
	漏電遮断器	アース線	mm ² 3.5
		標準電流値	(注7) A 44
	冷媒配管仕様	室外接続配管口径	ガス側 mm φ25.4・ロー付
		接続方式	液側 mm φ12.7・ロー付
		主配管口径	ガス側 mm φ25.4
		液側	mm φ12.7
		室外-室内間 相当長	m 210
		最速配管長 実長	m 190
通信用配線(注13)	最大配管総延長 (注8) m		500
	室外-室内間最大落差 (注9) m		室外機が上の場合:50、室外機が下の場合:40
	室内外渡り線(Uvライン)+室外間渡り線(Ucライン)		線長1000mまで：0.75~1.25mm ² 2芯 線長1000mまで：0.75~1.25mm ² 2芯 線長2000mまで：2.0mm ² 2芯
室内ユニット最大接続台数			21
定格騒音(音響パワーレベル)	(注10) dB(A)		81.0(83.0)
法定冷凍トン			4.76
通年エネルギー消費効率 APF	(注11)		5.0
運転音(音圧レベル)	(注12) dB(A)		62.0(63.0)

- (注1) 冷房・暖房性能および電気特性はJIS B 8616:2015による温度条件《冷房時：室内側27℃DB/19℃WB 室外側35℃DB、暖房時：室内側20℃DB 室外側7℃DB/6℃WB、暖房低温時：室内側20℃DB 室外側2℃DB/1℃WB》、基準配管《配管相当長7.5m、落差0m》時における 室外ユニット単体の値です。
なお、能力および電気特性はJIS B8616:2015に基づき天井カセット形4方向吹出しタイプの室内ユニットP90形×2台、P80形×2台接続時の室外ユニット単体の値です。(電気特性に室内ユニットの運転電流および消費電力は含まれません。)
実際の性能特性は、配管長、落差および室内ユニットの組合せによりかわります。技術資料を参照してください。
- (注2) 電源電圧は変動があった場合でも、±10%を超えないようにしてください。
- (注3) APF2015表示は、JIS B 8616:2015の統一条件に基づいています。
- (注4) 経済産業省告示第213号(平成21年)「エアコンディショナーの性能の向上に関する製造事業者等の判断基準等」による区分です。
- (注5) 現場での追加封入冷媒量は含んでいません。現地で室外能力補正、接続室内、配管長さ分の追加封入が必要です。
- (注6) 漏電遮断器は必ず設置してください。なお、使用する漏電遮断器は高調波対応品を使用してください。
- (注7) 電源設計は本基準電流値に基づき選定しています。基準電流値とは運転範囲中の最大電流であり、供給電源容量も基準電流値に基づき選定してください。
- (注8) 最大配管総延長は、液側またはガス側の片道配管実長の合計長さです。
- (注9) システム構成、機器の設置状態により許容される最大落差がかわります。技術資料を参照してください。
- (注10) 定格騒音(音響パワーレベル)は、JIS B 8616:2015に基づいた値です。()内は暖房運転時の値です。
- (注11) APF表示は、JIS B 8616:2006とJRA4048:2006,2009の統一条件に基づいています。
- (注12) 運転音(音圧レベル)は、無響室で正面1m、高さ1.5mの位置で測定した値(Aスケール)です。()内は暖房運転時の値です。
実際に据え付けますと、周囲の騒音や反響などにより表示値より大きくなる場合があります。
- (注13) 線種は2芯ケーブル(MVVS,EM-MEES,CVVS,CEES,EM-CEES,EM-CEE/F-S,VCTF,EM-ECTF,VCT)を使用してください。技術資料を参照してください。
- (注14) 下表の冷房・暖房性能および電気特性はJIS B 8616:2015で規定された項目です。天井カセット形4方向吹出しタイプの室内ユニットP90形×2台、P80形×2台接続時の値です。通年エネルギー消費効率を計算する際に使用します。

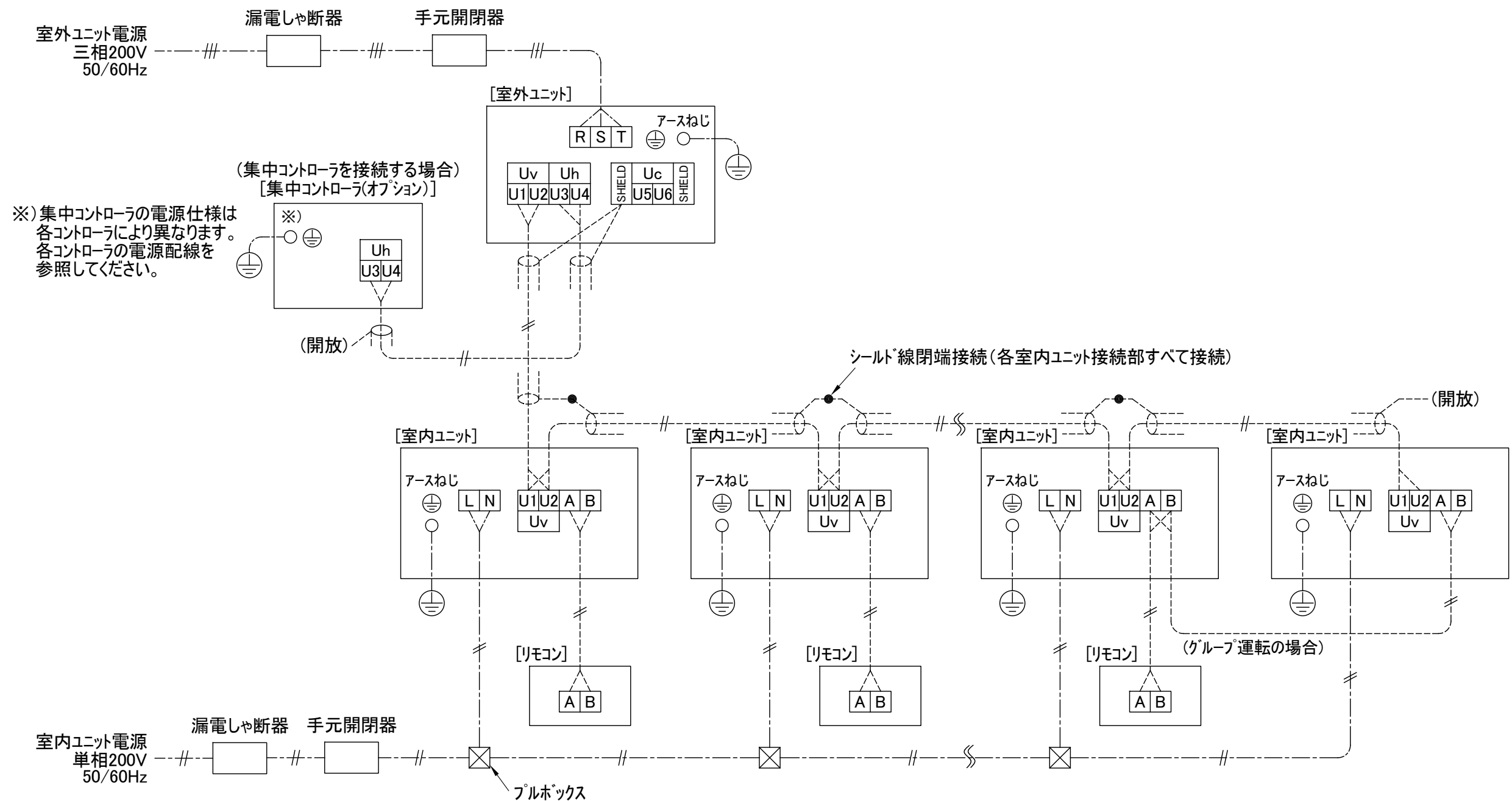
定格冷房標準	能力	kW	33.5
	消費電力	kW	11.9
	エネルギー消費効率		2.82
中間冷房標準	能力	kW	15.1
中間冷房中温	消費電力	kW	2.99
	能力	kW	15.2
	消費電力	kW	2.20

定格暖房標準	能力	kW	37.5
	消費電力	kW	10.5
	エネルギー消費効率		3.57
中間暖房標準	能力	kW	16.9
最小暖房標準	消費電力	kW	3.04
	能力	kW	9.4
	消費電力	kW	1.83

最大暖房低温	能力	kW	28.0
	消費電力	kW	10.1

定格冷暖標準エネルギー消費効率	3.20
通年エネルギー消費効率APF2015	6.1

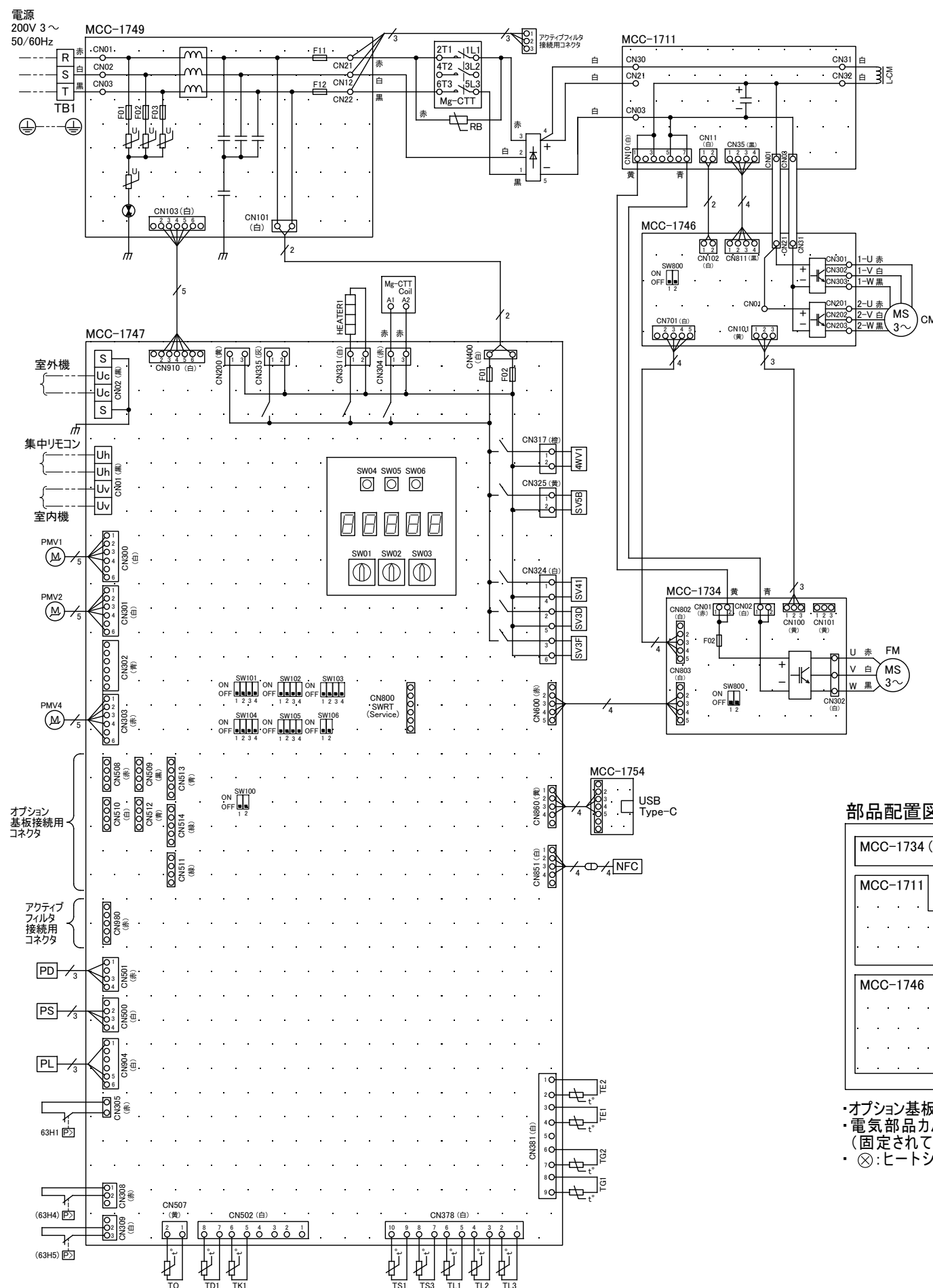
品名	東芝パッケージエアコン仕様表 (スーパーマルチuシリーズ 高効率仕様)	図番	T2222074ZG	O1	東芝キャリア株式会社
		形名	MMY-MUP3352RZG	22Y	



注)

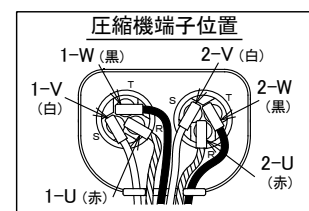
- 本図は、標準的な室内外間および室内ユニットとリモコン間の結線を示し、破線、一点鎖線は現地配線を示します。
- 室外ユニット、室内ユニットの電源配線サイズと器具容量は各々の機種の仕様表を参照してください。
ただし、室内ユニット仕様表に記載の電源配線サイズと器具容量は室内ユニット1台あたりの仕様を示していますので、集合部分の電源配線サイズ、器具容量は「電気設備に関する技術基準を定める通商産業省令」および「内線規程」に従ってください。
- 室内外制御用配線および集中コントローラ配線は、2芯ケーブル(MVVS,EM-MEES, CVVS, CEES, EM-CEES, EM-CEE/F-S, VCTF, EM-ECTF, VCT)を使用してください。極性はありません。
- 室外ユニット、室内ユニットの内部配線は、各々の機種の配線図を参照してください。
- アクティブフィルタを取り付ける場合は、アクティブフィルタの配線図を参照してください。

図番	T22G2204-MMY-MUP3352RZG	01	図法
		228	
品名	東芝パッケージエアコン 外部結線図	尺度	単位
形名	MMY-MUP3352RZG	東芝キャリア株式会社	



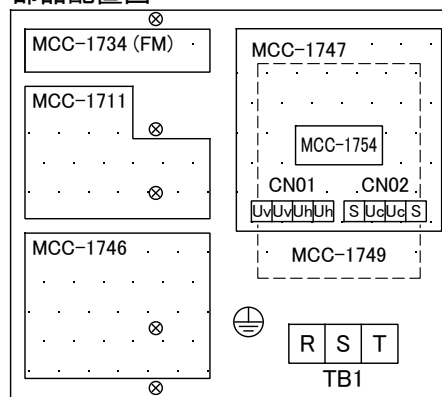
温度センサ 識別色

センサ 記号	コネクタ		ワイヤー・マーク色 [リード 緑色]
	番号	色	
TD1	CN502	白	黄 [黒]
TE1	CN381	白	— [青]
TE2	CN381	白	— [赤]
TG1	CN381	白	緑 [黒]
TG2	CN381	白	緑・黄 [黒]
TK1	CN502	白	— [黒]
TL1	CN378	白	白 [黄]
TL2	CN378	白	— [灰]
TL3	CN378	白	緑 [赤]
TO	CN507	黄	— [黒]
TS1	CN378	白	黄 [青]
TS3	CN378	白	白・黄 [黒]



	現地配線
	保護アース
	端子台
	接続端子
	コネクタ
	プリント基板

部品配置図



- ・オプション基板の取付可能枚数は4枚です。
- ・電気部品カバ―は2本のネジで 確実に固定すること。
(固定されていないと、水が入り故障の原因となります。)
- ・⊗:ヒートシンク固定用ネジ。

P.C.板

記 号	品 名
MCC-1711	電解コンデンサ基板
MCC-1734	ファン用インバータ基板
MCC-1746	圧縮機用インバータ基板
MCC-1747	インターフェース基板
MCC-1749	ノイズフィルター基板
MCC-1754	USB 絶縁基板

記 号	品 名
4WV1	四方弁コイル
63H1	高圧スイッチ
CM	圧縮機
CN***	コネクタ
CN01,CN02	端子台（制御配線）
CN308（63H4）	高圧スイッチ（液管用）
CN309（63H5）	高圧スイッチ（ガス管用）
(MCC-1747)	ヒューズ（インターフェース）
F01,F02	T6.3A 250VAC
(MCC-1749)	ヒューズ（ノイズフィルタ）
F01,F02,F03	T6.3A 250VAC
(MCC-1749)	ヒューズ（ノイズフィルタ）
F11,F12	70A 250VAC
(MCC-1734)	ヒューズ（ファン）
F02	12.5A 450VDC
FM	ファンモータ
HEATER1	圧縮機用ケースヒータ
L-CM	リアクタ（圧縮機）
Mg-CTT	マグネットコネクタ
NFC	NFC タグ
PD	圧力センサ（高圧）
PL	圧力センサ（液圧）
PMV1	電子膨張弁（メイン）
PMV2	電子膨張弁（サブ）
PMV4	電子膨張弁（過冷却熱交用）
PS	圧力センサ（低圧）
RB	突入電流保護抵抗
SV3D,SV3F,SV41,SV5B	二方弁コイル
SW01,SW02,SW03	ロータリスイッチ
SW04,SW05,SW06	押しボタンスイッチ
SW100,SW101,SW102,SW103 SW104,SW105,SW106,SW800	ディップスイッチ
TB1	端子台（電源）
TD1	配管温度センサ（吐出）
TE1,TE2	熱交温度センサ
TG1,TG2	ガス温度センサ
TK1	油温センサ
TL1,TL2,TL3	液温センサ
TO	外気温度センサ
TS1,TS3	配管温度センサ（吸込）

図番	T22D2206-MMY-MUP3352RZG		02	図法
			22Z	
品名	東芝パッケージエアコン 配線図		尺度	単位
形名	MMY-MUP3352RZG	東芝キヤリア株式会社		

工事記録写真撮影実施要綱

1. 工事記録写真は、現場における工事の進捗状況ならびに工事実施の確認を目的として撮影すること。

2. 撮影要点

(1) 形状寸法の確認方法

付近を整理整頓して、形状寸法、位置等が判別できるように、測定器具を添えて一定方向から被写体に平行または直角に撮影することを原則とする。また、形状寸法及び位置等を黒板に記入すること。

黒板（白板等を含む）は、工事件名、請負者、撮影年月日、撮影箇所、使用、形状、寸法、立会者等が記入できるものとする。

測定器具は、施工出来形寸法等を確認できる、箱尺、スチールテープ、リボンテープ等を使用すること。

(2) 撮影時期

施工過程において、撮影時期を失わないようにすること。

特に工事完了後、確認することが困難な箇所については、規模・構造を明確に把握できるように注意すること。

(3) 撮影方法

撮影は、常に一定して撮影し、特に同一箇所を施工の各段階で撮影する必要がある場合は、位置の確認を容易にするため、同一背景を画面に入れるようにすること。

(4) 撮影箇所及び撮影内容

表のとおり

(5) 写真の色彩及び大きさ

写真はカラーを原則とし、大きさはサービス版を標準とする。

(6) アルバム等

アルバムは、市販の工事写真帳（A4 サイズ）を標準とする。

工事写真帳以外を使用する場合はアルバム等の表紙に、工事件名、施工場所、工期、請負者名等を記入し、背表紙には、工事件名、年度を記入すること。

(7) 写真の整理

記録写真は、着手から竣工までの経過が把握できるよう一括して順序よく整理すること。

(8) 提出部数

アルバム等の提出部数は、2 部とする。

表. 撮影箇所及び撮影内容					
区 分	工 種	種 別	撮影項目	撮影時期	撮影頻度
着手前及び 完成写真	着手前		全景または代表部分	着手前	着手前に1回
	完 成		全景または代表部分	完成後	施工完了後1回
施工状況 写真	業務施工中		全景または代表部分の 業務の進捗状況	施工中	適 宜

東京都グリーン購入推進方針

物品等の調達に当たっては、その必要性をよく考えた上で、価格・機能・品質だけでなく、環境への負荷ができるだけ少ないものを選択して購入することとする。

その際、可能な限り、原材料の採取から製品やサービスの生産、流通、使用、廃棄に至るまでのライフサイクルにおいて環境への負荷が少ないものを選択することが必要である。

特に、省エネルギーの徹底や再生可能エネルギーの利用等による脱炭素化の推進、サーキュラーエコノミーの推進に寄与する製品やサービスを積極的に選択することで、物品等の調達を通じ、全庁をあげて環境課題に対応していくことが重要である。

そこで、調達する各製品やサービスごとに、適正な価格・機能・品質を確保しつつ、以下の観点で他の製品等と比較して、相対的に環境負荷の少ないものを選択することとする。

<原材料の採取段階での環境配慮>

- ① 原材料の採取において資源の持続可能な利用に配慮されているもの
- ② 原材料が違法に採取されたものではないもの
- ③ 原材料の採取が保護価値の高い生態系に影響を与えていないなど、生物多様性の損失を引き起こしていないもの
- ④ 原材料の採取において環境汚染及び多量の温室効果ガスの排出を伴わないもの

<製造段階での環境配慮>

- ⑤ 再生材料（再生紙、再生樹脂等）を使用したもの
- ⑥ 余材、廃材（間伐材、小径材等）を使用したもの
- ⑦ 再生しやすい材料を使用したもの

<使用段階での環境配慮>

- ⑧ 使用時の資源やエネルギーの消費が少ないもの
- ⑨ 修繕や部品の交換・詰め替えが可能なもの
- ⑩ 梱包・包装が簡易なもの、又は梱包・包装材に環境に配慮した材料を使用したもの

<廃棄・リサイクル段階での環境配慮>

- ⑪ 分別廃棄やリサイクルがしやすい（単一素材、分離可能等）もの
- ⑫ 回収・リサイクルシステムが確立しているもの
- ⑬ 耐久性が高く、長期使用が可能なもの

<サービス提供時の環境配慮>

- ⑭ 省エネルギーの取組を徹底したもの
- ⑮ サービス提供時に必要な電力に再生可能エネルギーを利用するなど温室効果ガスの排出が少ないもの

<その他の環境配慮>

- ⑯ 製造・使用・廃棄等の各段階で、有害物質を使用又は排出しないもの
- ⑰ 製造・使用・廃棄等の各段階で、環境への負荷が大きい物質（温室効果ガス等）の使用、排出が少ないもの
- ⑱ 製造・使用・廃棄等の各段階で、生物多様性の損失を引き起こさないもの